
僕と満月と狼女

杉浦 淩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕と満月と狼女

【Zコード】

Z0918A

【作者名】

杉浦 澄

【あらすじ】

付き合って1年になる俺の彼女。彼女は月に一度、満月の夜に『不思議ちゃん』に変身する。しかし今月はいつもより酷かった…。狼女な彼女に振り回される俺。それでもやっぱり彼女が好きで。

1・狼女の究極の変貌

俺には付き合って1年経つ彼女が居る。
しかしその彼女。

少々『不思議ちゃん』なのが厄介なところ。

見た目は…俺が言うのも何だがまあ可愛い方だし、行動も普段は至って普通である。

しかし、そんな彼女が変貌するのが月に一度…
そう、満月の夜だ。

満月が近付くと彼女はやたら感傷的になるのだ。
人間だし、ただ感傷的になる分には構わない。
けれどもそのどちらかが俺にくることが…

今月もやっときました。満月の夜。

以前ならば満月がいつかなんて気付かずに過ごしていたもんだが、
彼女と付き合いだしてからは毎月きちんとチェック出来るようにな
ってしまった。

PM7:00
俺の携帯が鳴る。
彼女からのメール。

『ねえ、なんで私と付き合つてるの?』

唐突にそんなこと聞かれててもなあ…

悩んだ末に俺はこう返信した。

『なんでだらうな…運命かな?』

こんな俺だが、一応彼女は愛しているつもりだ。

恥ずかしい話だが、20年間生きてきて生まれて初めての彼女なのだ。

それに3度の飯よりゲームが好き、ゲームがなきゃ生きていけねえって俺でも、彼女は見捨てるところなく1年も一緒に居てくれる。俺の人生で最初で最後の恋愛になる予定だ。

まあ関係ない話だが…

メールを返信したあと、俺はベランダに出て空を見上げた。真ん丸の月と日が合つ。

何かいつもよりデカく感じるのは気のせいか…?

今日はきっと2割増くらいの変貌を見せることがどう。つたく…俺の狼女は…

彼女からの返信も早かつた。

『じゃあ私と結婚して。』

…前言撤回…

5割増の変貌ぶりでした。

『いざれはなー

でも働いてからじやねえと無理だろ。』

因みに俺は今大学3年生。

正直結婚とかまだわからんねえというか…

次に彼女からの返信を見て、俺は久し振りにチビるかと思った。

『妊娠したかも…』

理想と現実

PM 7:30

俺は彼女に返すメールに悩んでいた。

正直、色々考えてしまつのだ。

妊娠は事実なのか…
病院には行ったのか…
彼女は産むつもりなのか…
どうせじる金を貰うのか…

そして、彼女に訊きたくて訊けない質問。

それは、本当に俺の子なのか…?
疑ってるわけじゃない。

だけどただ確認したいのだ。

俺がそうしてぐるぐると考えを巡らせていくと、待ちきれなくなつたのか彼女からメールが届いた。

『ねえ、もしそうなら産んでもいいの?』

いきなり核心をつかないでくれ…

その答えの前に確かめたいことは山ほどあるんだ。

けれども…俺は訊きたいことも訊かないままメールを返してしまつた。

『…堕ろしてくれないか?』

自分のふがいなさにめまいがした。

心から自分を憎んだ。

そんな俺なのに、彼女は
『判つてるとから大丈夫だよ。』
と返事を寄せた。

そのメールは更にこう続いていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0918a/>

僕と満月と狼女

2010年10月8日13時15分発行